



2017年4月期1Q

IR資料

株式会社 アイホールディングス
2016年8月

1Q決算概要

売上高はM&Aを含む15店舗の新規出店及び前期出店が寄与した事により、前期比110.9%、計画比93.9%となった。経常利益は診療報酬改定の影響により前期比82.3%、計画比86.4%となった。

(単位:百万円)	16/4期1Q 実績	17/4期1Q 計画	17/4期1Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	52,146	61,600	57,819	5,673	110.9	93.9
売上総利益	7,816	9,530	8,954	1,138	114.6	94.0
売上比(%)	15.0	15.5	15.5			
販売管理費	5,105	6,880	6,672	1,567	130.7	97.0
売上比(%)	9.8	11.2	11.5			
営業利益	2,710	2,650	2,281	▲429	84.2	86.1
売上比(%)	5.2	4.3	3.9			
経常利益	2,886	2,750	2,376	▲510	82.3	86.4
売上比(%)	5.5	4.5	4.1			
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,533	1,490	1,371	▲162	89.4	92.0
売上比(%)	2.9	2.4	2.4			
1株当たり 四半期純利益(円)	48.35	46.99	43.25	▲5.10	89.5	92.0

▶ 単位未満切り捨て

売上高はM&Aを含む新規出店及び前期出店が寄与した事により前期比110.0%、計画に対しては処方箋単価の減少により計画比94.0%となった。セグメント利益は診療報酬改定の影響により、前期比91.8%、計画比87.5%となった。

(単位:百万円)	16/4期1Q 実績	17/4期1Q 計画	17/4期1Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	46,783	54,720	51,438	4,655	110.0	94.0
売上総利益	6,124	6,910	6,571	447	107.3	95.1
売上比(%)	13.1	12.6	12.8			
販売管理費	2,508	3,060	3,226	718	128.6	105.4
売上比(%)	5.4	5.6	6.3			
営業利益	3,616	3,850	3,345	▲271	92.5	86.9
売上比(%)	7.7	7.0	6.5			
セグメント利益	3,745	3,930	3,437	▲308	91.8	87.5
売上比(%)	8.0	7.2	6.7			
店舗数	763	890	894	131	117.2	100.4

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っている
- ▶ 処方箋枚数113.7%(前期比)
- ▶ 処方箋単価97.3%(前期比)

売上高は新規出店及び前期に出店した旗艦店の伸長により前期比105.2%となった。オリジナルブランドの積極的な展開により、粗利率は改善しているものの、販売促進費等の増加によりセグメント損失は194百万円となった。

(単位:百万円)	16/4期1Q 実績	17/4期1Q 計画	17/4期1Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	4,985	5,520	5,246	261	105.2	95.0
売上総利益	1,647	1,970	1,880	233	114.1	95.4
売上比(%)	33.0	35.7	35.8			
販売管理費	1,796	2,110	2,089	293	116.3	99.0
売上比(%)	36.0	38.2	39.8			
営業利益	▲148	▲140	▲209	▲61	-	-
売上比(%)	-	-	-			
セグメント利益	▲124	▲120	▲194	▲70	-	-
売上比(%)	-	-	-			
店舗数	57	52	52	▲5	91.2	100.0

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っている
- ▶ 客数98.3%(前期比)
- ▶ 客単価107.1%(前期比)

現預金が16/4期末より4,175百万円増加し、ネットキャッシュは3,142百万円となった。

(単位:百万円)

16/4期末			
資産の部		負債の部	
流動資産	56,593	流動負債	66,744
現預金	22,647	短期借入金	5,690
		リース債務	668
固定資産	83,294	固定負債	19,818
投資有価証券	2,677	長期借入金	14,854
		リース債務	1,198
繰延資産	-	純資産計	53,324
資産合計	139,888	負債・純資産合計	139,888
ネットキャッシュ			236
自己資本比率(%)			38.1

(単位:百万円)

17/4期1Q末			
資産の部		負債の部	
流動資産	56,326	流動負債	67,300
現預金	26,822	短期借入金	8,477
		リース債務	647
固定資産	82,823	固定負債	18,408
投資有価証券	2,582	長期借入金	13,448
		リース債務	1,107
繰延資産	-	純資産計	53,440
資産合計	139,149	負債・純資産合計	139,149
ネットキャッシュ			3,142
自己資本比率(%)			38.4

▶ 単位未満切り捨て

▶ ネットキャッシュ=現金及び預金-有利子負債(短期・長期借入金+リース債務)

売上債権の流動化により、現預金が増加、売掛金は減少し、総資産は16/4期末より739百万円減少した。

(単位:百万円)	16/4期1Q末	16/4期末	17/4期1Q末	増減額
現金及び預金	20,465	22,647	26,822	4,175
売掛金	8,371	12,385	7,621	▲4,764
棚卸資産	10,785	10,984	11,737	753
流動資産合計	46,421	56,593	56,326	▲267
建物・構築物	11,877	14,694	14,570	▲124
土地	8,172	9,537	9,517	▲20
リース資産	1,406	1,352	1,273	▲79
有形固定資産合計	23,628	28,153	27,766	▲387
リース資産	26	13	16	3
無形固定資産合計	27,235	35,586	35,558	▲28
投資有価証券	2,979	2,677	2,582	▲95
繰延税金資産	994	2,038	2,084	46
敷金・保証金	9,714	10,013	10,037	24
投資その他の資産合計	18,127	19,555	19,498	▲57
固定資産合計	68,991	83,294	82,823	▲471
資産合計	115,413	139,888	139,149	▲739

売上債権
の流動化

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額(有形及び無形固定資産+敷金・保証金)は748百万円

▶ 増減額: 16/4期末・17/4期1Q末比較

借入金の返済等により、負債合計は16/4期末より854百万円減少した。

(単位:百万円)	16/4期1Q末	16/4期末	17/4期1Q末	増減額
買掛金	33,716	39,987	38,320	▲1,667
短期借入金	6,162	5,690	8,477	2,787
リース債務	659	668	647	▲21
流動負債合計	55,878	66,744	67,300	556
長期借入金	6,704	14,854	13,448	▲1,406
リース債務	1,308	1,198	1,107	▲91
固定負債合計	10,824	19,818	18,408	▲1,410
負債合計	66,702	86,563	85,709	▲854
資本金	8,682	8,682	8,682	-
資本剰余金	7,872	6,367	6,367	-
利益剰余金	32,221	38,605	38,708	103
株主資本合計	48,358	53,237	53,340	103
純資産合計	48,710	53,324	53,440	116
負債純資産合計	115,413	139,888	139,149	▲739

▶ 単位未満切り捨て

▶ 増減額: 16/4期末・17/4期1Q末比較

17/4期計画(連結)

17/4期は医薬事業120店舗、物販事業6店舗の新規出店により、売上高は前期比112.8%、経常利益はGE使用促進、技術料の算定及び業務効率化により前期比110.2%を見込む。

(単位:百万円)	15/4期 実績	16/4期 実績	17/4期 計画	増減額	前期比 (%)
売上高	187,904	234,843	265,000	30,157	112.8
売上総利益	28,961	38,535	44,200	5,665	114.7
売上比(%)	15.4	16.4	16.7		
販売管理費	17,509	23,915	27,900	3,985	116.7
売上比(%)	9.3	10.2	10.5		
営業利益	11,452	14,619	16,300	1,681	111.5
売上比(%)	6.1	6.2	6.2		
経常利益	11,697	15,158	16,700	1,542	110.2
売上比(%)	6.2	6.5	6.3		
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,197	7,917	9,000	1,083	113.7
売上比(%)	3.3	3.4	3.4		
1株当たり 当期純利益(円)	195.45	249.69	283.84	34.15	113.7
年間配当金(円)	30.00	40.00	50.00	10.00	125.0

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減額、前期比:16/4期・17/4期比較

▶ 当社は、2014年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っている
15/4期期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出

1QReview

実績検証①(対前期)

売上高は、医薬事業において診療報酬改定により単価は減少したものの、新規出店及び前期出店の寄与による処方箋枚数増加、物販事業での前期出店の寄与による売上高増加により、前期比110.9%となった。営業利益は、診療報酬改定の影響により、前期比84.2%となった。

(単位:百万円)	16/4期1Q 実績	17/4期1Q 実績	増減額	前期比 (%)
売上高	52,146	57,819	5,673	110.9
売上総利益 売上比(%)	7,816 15.0	8,954 15.5	1,138	114.6
販売管理費 売上比(%)	5,105 9.8	6,672 11.5	1,567	130.7
営業利益 売上比(%)	2,710 5.2	2,281 3.9	▲429	84.2
経常利益 売上比(%)	2,886 5.5	2,376 4.1	▲510	82.3

売上高検証 対前期(%)

	売上高	枚数	単価
既存店(729店)	97.4	98.4	99.1
前期出店(141店)	2,831.9	2,229.7	125.0
全店(894店)	110.8	113.7	97.3

	売上高	客数	単価
既存店(47店)	95.9	96.3	99.6
前期出店(5店)	1,127.0	1,015.5	111.0
全店(52店)	105.2	98.3	107.1

営業利益検証

医薬	▲271百万円 診療報酬改定の影響、新卒採用数の増加
物販	▲61百万円 販売促進費の増加

▶ ()内はFC2店舗、休店8店舗を除いた店舗数

▶ 単位未満切り捨て ▶ 上記PLには連結調整を含む

実績検証②(対計画)

売上高は、医薬事業において薬価改定の影響を受け処方箋単価が減少したことにより、計画比93.9%となった。売上高の計画未達により、営業利益は計画比86.1%となった。

(単位:百万円)	17/4期1Q 計画	17/4期1Q 実績	増減額	計画比 (%)
売上高	61,600	57,819	▲3,781	93.9
売上総利益 売上比(%)	9,530 15.5	8,954 15.5	▲576	94.0
販売管理費 売上比(%)	6,880 11.2	6,672 11.5	▲208	97.0
営業利益 売上比(%)	2,650 4.3	2,281 3.9	▲369	86.1
経常利益 売上比(%)	2,750 4.5	2,376 4.1	▲374	86.4

▶ 単位未満切り捨て ▶ 上記PLには連結調整を含む

売上高検証 対計画(%)		売上高	枚数	単価
医薬	既存店(729店)	94.4	99.4	95.0
	前期出店(141店)	97.0	96.6	100.1
	全店(894店)	95.3	99.7	95.5

		売上高	客数	客単価
物販	既存店(47店)	94.8	-	-
	前期出店(5店)	99.9	-	-
	全店(52店)	95.1	-	-

営業利益検証

医薬	▲505百万円 薬価改定の影響による売上未達、新卒採用数の増加
物販	▲69百万円 売上未達による粗利益未達

▶ ()内はFC2店舗、休店8店舗を除いた店舗数

	改定前	点数	改定後	点数
調剤基本料	特例を除く	41 (31)	1 2 3 を除く	41 (31)
	特例 4,000回超 集中度70%超 or 2,500回超 集中度90%超	25 (19)	2 4,000回超 集中度70%超 or 2,000回超 集中度90%超 or 特定病院4,000回超	25 (19)
基準調剤加算	基本料41 & 在庫700品目 & 24h輪番 & 在宅対応	12	基本料41 & 在庫1,200品目 & 在宅(1件/年) & かかりつけ薬剤師届出 & 管薬経験5年 在籍1年	32
	基本料41 & 600回超の場合集中度70%以下 & 在庫1,000品目 & 24h対応 & 在宅(10件/年)	36		
GE体制加算	55%-65%	18	65-75%	18
	65%以上	22	75%以上	22
薬歴管理料	お薬手帳交付あり	41	基本料41 & お薬手帳持参 & 6ヵ月以内再来局	38
	お薬手帳交付なし	34	上記以外	50
ハイリスク加算	ハイリスク薬に関する適切な指導	4	かかりつけ薬剤師指導料	70
			ハイリスク薬に関する適切な指導	10

▶ 上記の項目、要件は2016年改定の一部を抜粋したもの

▶ ()内は未妥結減算の点数

2016年改定対応①

(単位:円)

	改定後	点数	3月	4月	7月	増減	施策後(17年3月単月)	
								増減
調剤基本料	1 2 3 を除く	41 (31)						
	2 4,000回超 集中度70%超 or 2,000回超 集中度90%超 or 特定病院4,000回超	25 (19)	382.4	311.9	311.7	▲70.7	面処方応需の推進	323.2 ▲59.2
	3 同一グループ4万回/月超 集中度 95%超 or 医療機関との賃貸借契約	20 (15)						
基準調剤加算	基本料41 & 在庫1,200品目 & 在宅(1件/年) & かかりつけ薬剤師 届出 & 管薬経験5年 在籍1年	32	147.3	116.7	128.2	▲19.1	人員の適正配置や 在宅推進	165.1 17.8
GE体制加算	65-75%	18	191.6	146.8	162.6	▲29.0	GE使用促進	185.9 ▲5.7
	75%以上	22						
薬歴管理料	基本料41 & お薬手帳持参 & 6カ月以内再来局	38	382.5	433.7	437.8	55.3	全店舗でかかりつけ 薬剤師の啓発活動を 実施	464.0 81.5
	上記以外	50						
	かかりつけ薬剤師指導料	70						
ハイリスク加算	ハイリスク薬に関する適切な指導	10	9.6	25.3	25.1	15.5		25.3 15.7
▶ 上記の項目、要件は2016年改定の一部を抜粋したもの						▲48.0		50.1

▶ ()内は未妥結減算の点数

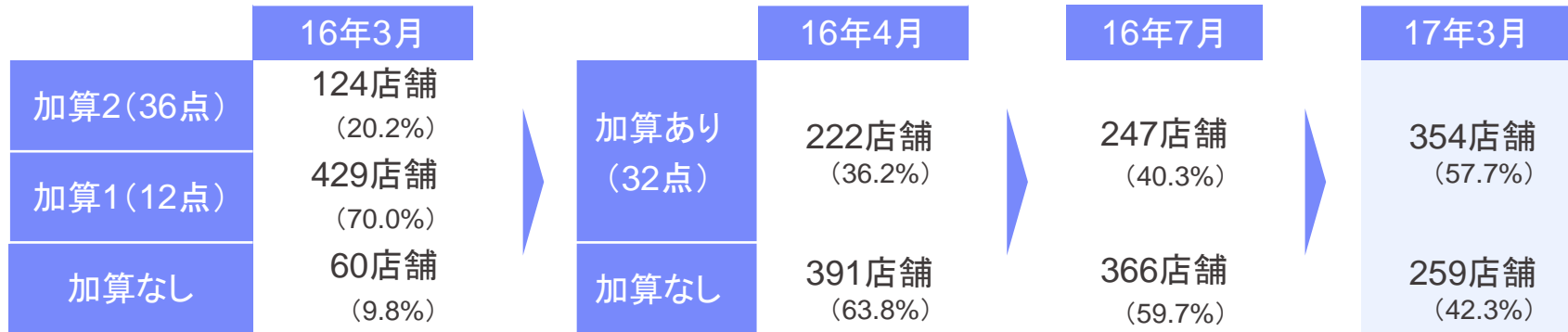
▶ 受付1件当たり単価

▶ 集計対象は613店舗 ▶ 増減 2016年3月比較

対応②基準調剤加算 GE体制加算

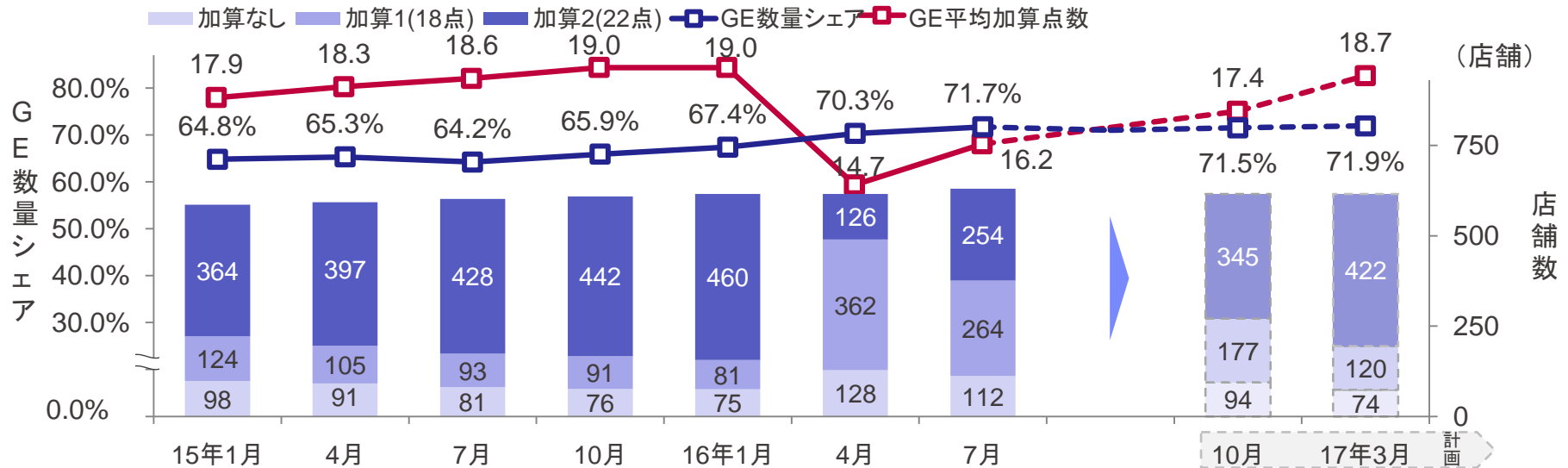
診療報酬改定に対応し、在宅医療やGE医薬品の推進などの施策を推進することで、基準調剤加算の算定店舗割合は40.3%、GE平均加算点数は16.2点となった。引き続きかかりつけ薬局機能の強化に取り組む。

■ 基準調剤加算算定店舗割合



▶ 集計対象は613店舗(2016年7月時点)

■ GE進捗状況



▶ 15年1月～16年1月は14年4月改定基準 ▶ GE平均加算点数: 処方箋1枚当たり平均点数 ▶ 集計対象は630店舗(2016年7月時点)

17/4期1Q時点ではM&Aを含む出店が計画を上回り、新規出店は15店舗となった。通期では126店舗の出店を見込む。

■ 総店舗数

946店舗(医薬894店舗、物販52店舗)

■ 医薬・物販出店計画

		17/4期1Q		17/4期
		計画	実績	計画
医薬	門前	3	4	42
	モール	2	2	5
	M&A	4	8	73
物販		1	1	6
合計		10	15	126

17/4期末店舗数
1,059店舗見込

▶ 総店舗数にはFC2店舗を含む

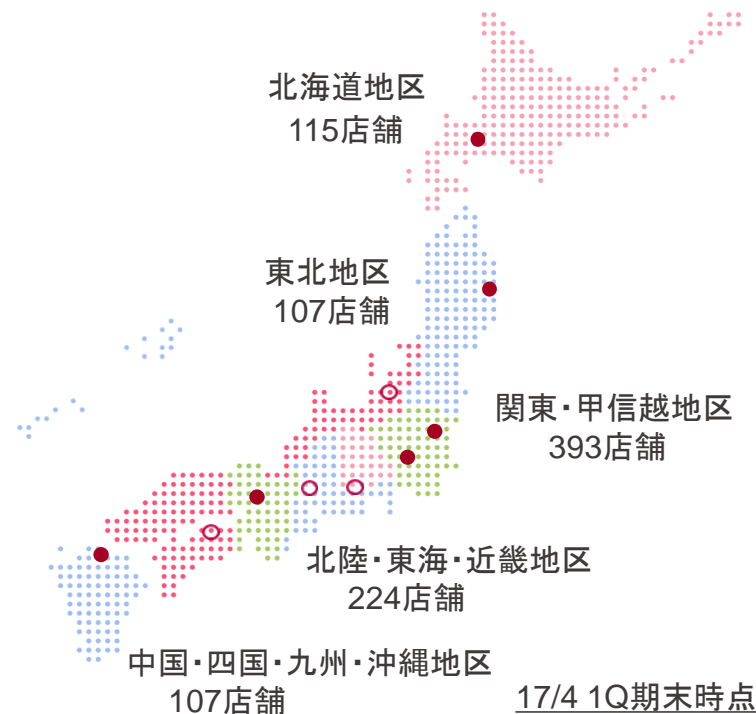
▶ 確保物件数74件

■ 医薬出退店推移

	07/4期	08/4期	09/4期	10/4期	11/4期	12/4期	13/4期	14/4期	15/4期	16/4期	17/4期1Q
オーガニック	14	23	24	21	18	27	38	36	40	32	6
M&A	18	91	3	3	35	28	38	26	119	110	8
EV/EBITDA倍率	7.54	4.82	2.21	3.45	5.60	5.51	5.09	3.94	4.77	5.37	4.60
閉店	3	5	8	2	5	9	10	6	21	15	1
店舗数	247	356	375	397	448	494	560	616	754	881	894

▶ EV/EBITDA倍率=EV(M&A:買取価格)/EBITDA(営業利益+減価償却費)

▶ 医薬店舗数は11/4期より休店を含む



17/4期計画(医薬事業)

17/4期売上高は、前期出店のフル寄与及びM&Aを含めた120店舗の出店により、前期比111.9%を見込む。セグメント利益は、生産性向上等の施策に継続的に取り組むことで、前期比104.1%を見込む。

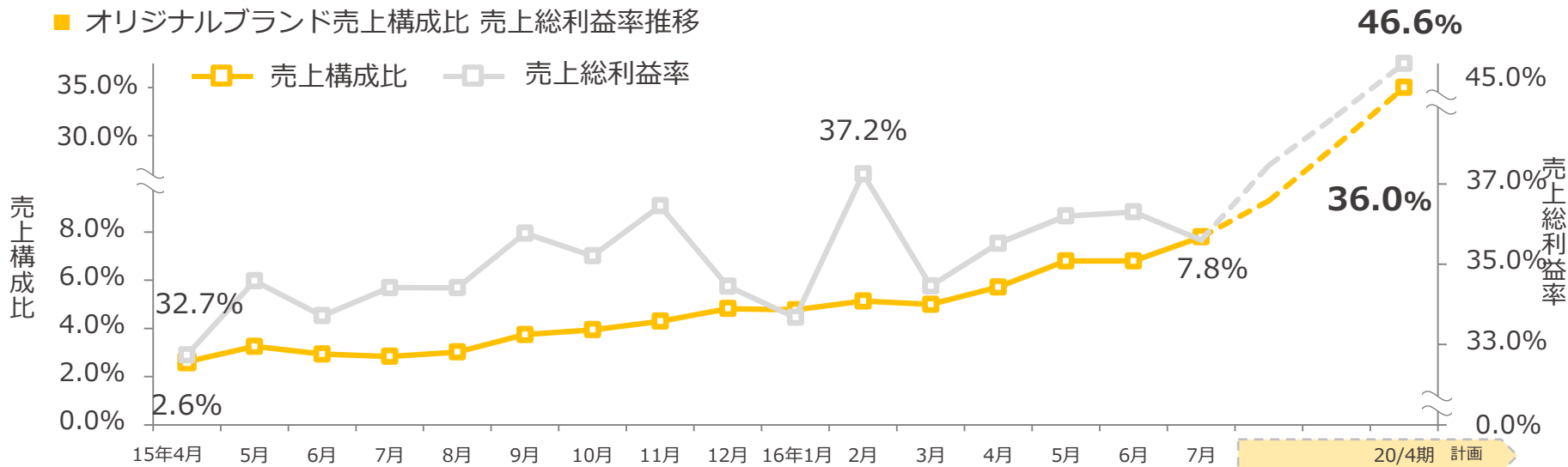
(単位:百万円)	16/4期実績	17/4期計画	前期増減額	前期比(%)	計画内訳												
売上高	211,009	236,100	25,091	111.9	■ 売上高 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>17/4期計画</th> <th>前期比(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存店 (730店)</td> <td>191,745</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>調剤 前期出店 (141店)</td> <td>28,892</td> <td>231.1</td> </tr> <tr> <td>当期出店 (120店)</td> <td>9,460</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>▶ その他10店(FC2店、休店8店)</p> ■ セグメント利益 (売上総利益率の低下) 診療報酬改定に対し積極的に施策に取り組むものの、▲0.5ポイントの13.8%を見込む。 (販売管理費率の低減) 事業拡大に伴い前期比109.9%となるものの、本部コストを圧縮し、▲0.1ポイントの5.4%を見込む。		17/4期計画	前期比(%)	既存店 (730店)	191,745	99.0	調剤 前期出店 (141店)	28,892	231.1	当期出店 (120店)	9,460	-
	17/4期計画	前期比(%)															
既存店 (730店)	191,745	99.0															
調剤 前期出店 (141店)	28,892	231.1															
当期出店 (120店)	9,460	-															
売上総利益 売上比(%)	30,268 14.3	32,480 13.8	2,212	107.3													
販売管理費 売上比(%)	11,629 5.5	12,780 5.4	1,151	109.9													
営業利益 売上比(%)	18,639 8.8	19,700 8.3	1,061	105.7													
セグメント利益 売上比(%)	19,219 9.1	20,000 8.5	781	104.1													

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ 処方箋枚数111.9%(前期比)
- ▶ 処方箋単価98.9%(前期比)

オリジナルブランド構成比推移

オリジナルブランドの開発・販売により、売上構成比及び売上総利益率は上昇している。今後も商品開発を推進することにより、20/4期に売上構成比36.0%、売上総利益率46.6%を見込む。

■ オリジナルブランド売上構成比 売上総利益率推移



▶ 売上総利益率：アインズ&トルペ42店舗

商品	PLACENTA & VITAMIN C	LIPS and HIPS	cocodecica
ブランド名	VP	リップス&ヒップス	ココデシカ
発売日	2013年11月	2015年7月	2015年7月
SKU	22	104	1,490

▶ SKU：2016年7月末時点

17/4期計画（物販事業）

17/4期売上高は6店舗の新規出店により、前期比107.7%を見込む。セグメント利益については、売上総利益率は2.5ポイント改善するものの、オリジナルブランド商品開発費等の販売管理費増加により▲224百万円を計画する。

(単位：百万円)	16/4期 実績	17/4期 計画	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	20,884	22,500	1,616	107.7
売上総利益 売上比 (%)	7,236 34.6	8,350 37.1	1,114	115.4
販売管理費 売上比 (%)	7,931 38.0	8,700 38.7	769	109.7
営業利益 売上比 (%)	▲694 -	▲350 -	344	-
セグメント利益 売上比 (%)	▲459 -	▲224 -	235	-

▶ 単位未満切り捨て

計画内訳			
		17/4期 計画	前期比 (%)
■ 売上高			
(単位：百万円)			
既存店	(47店)	17,700	102.0
物販	前期出店 (5店)	3,530	165.7
	当期出店 (6店)	1,270	-
■ セグメント利益			
(売上総利益率の改善)			
オリジナルブランドの展開により、粗利率改善を図り、+2.5ポイントの37.1%を見込む。			

参考資料



代表者	代表取締役社長 大谷 喜一
設立	1969年8月
時価総額	169,318百万円
売上高・利益	売上高 234,843百万円 営業利益 14,619百万円
従業員数	8,555名(嘱託、パート含) 内薬剤師:3,899名(連結延人数)
店舗数	933店舗 (調剤薬局881舗、ドラッグストア52店舗)

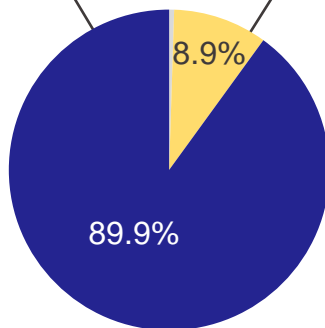
▶ 2016年4月期末(時価総額は2016年4月末時点)

医薬事業



事業内容 保険調剤及び医薬品等販売業
後発医薬品卸売販売業
人材紹介業
医療コンサルティング業

主要会社 (株)アインメディオ、(株)ダイチク
(株)あさひ調剤、(株)メディオ薬局
NPホールディングス(株)
(株)ホールセールスターズ
(株)メディウエル、医療開発(株) 他



2016年4月期
連結売上高
234,843 百万円

物販事業

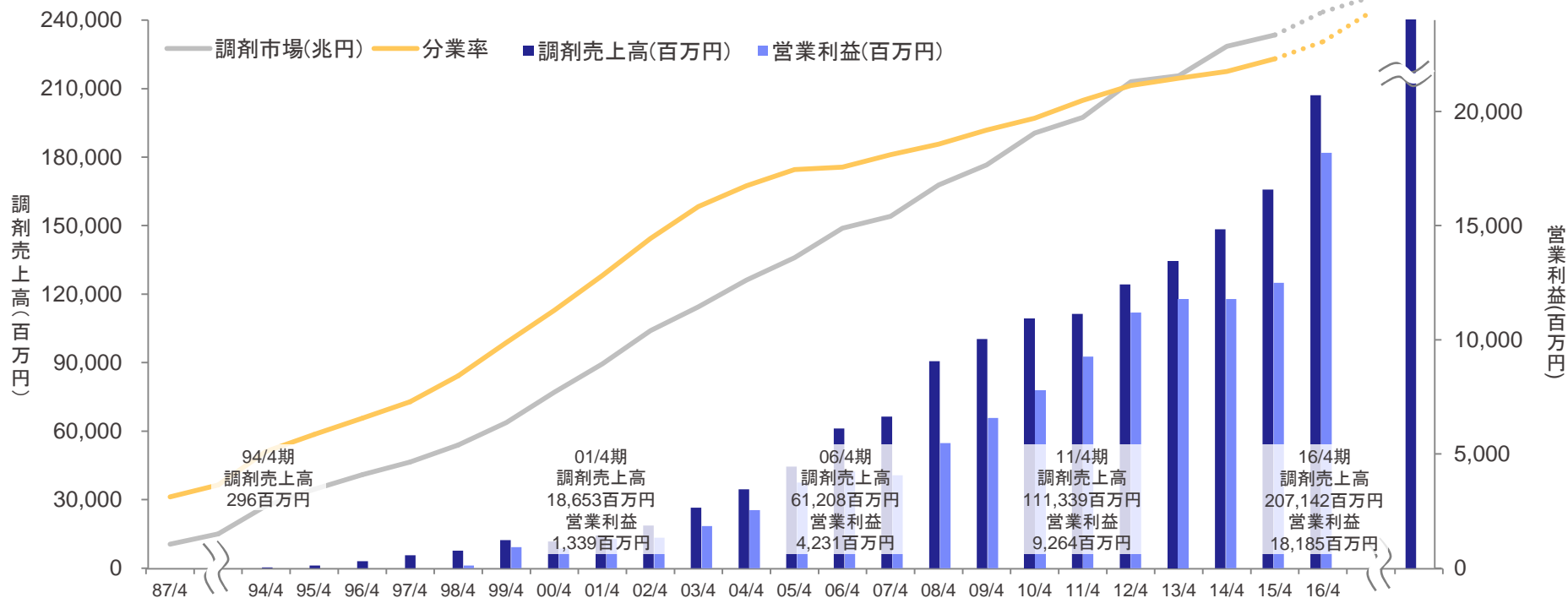


事業内容 コスメ&ドラッグストア運営
化粧品、化粧用具等製造・販売

主要ショップ AINZ TULPE
DRUG AND COSMETIC

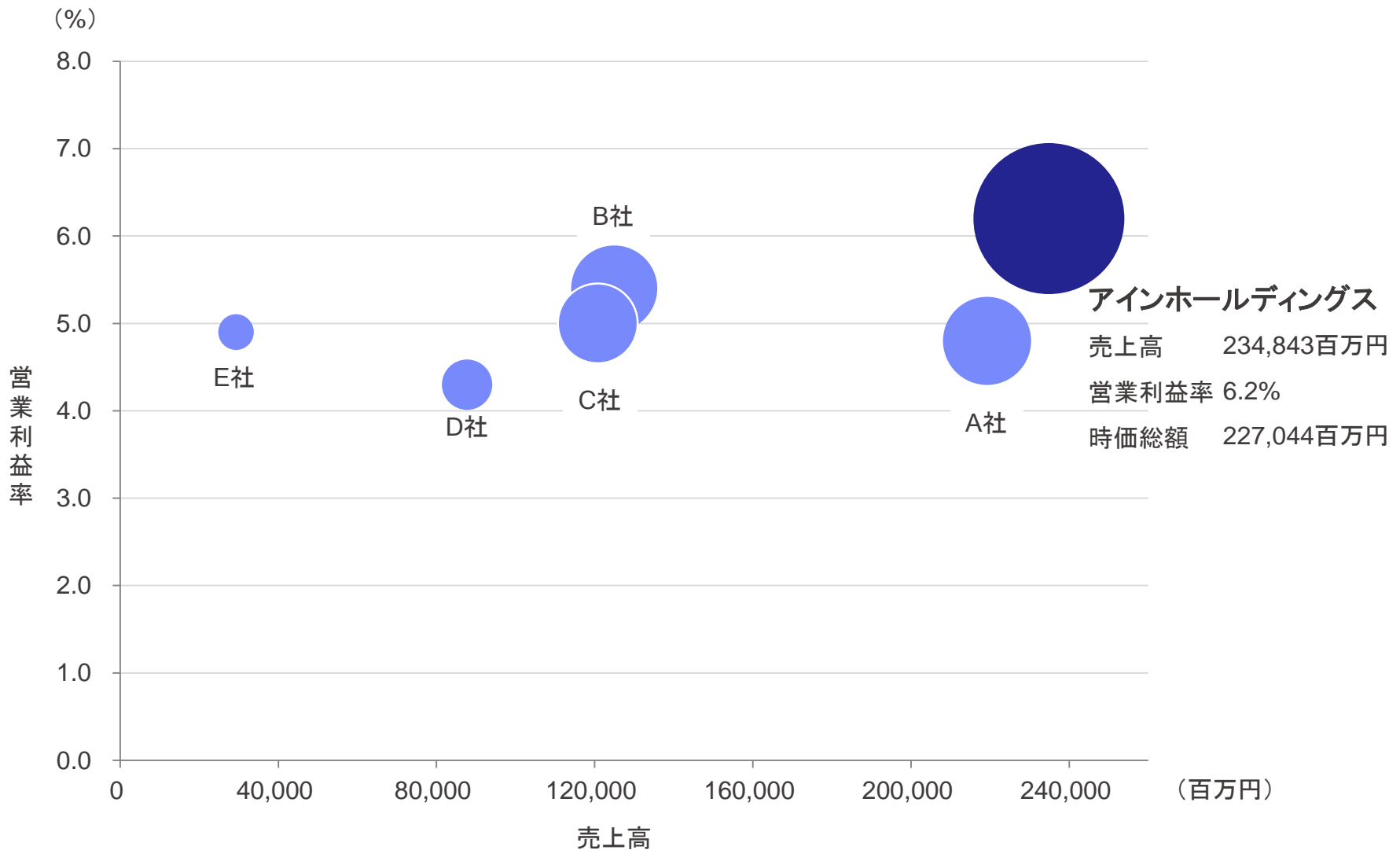
主要ブランド le trois
AYURA
LIPS and HIPS
cocodecica

	1986年	1993年	1995年	2000年	2005年	2010年	2014年	20XX年
分業率	9.7%	15.8%	20.3%	39.5%	54.1%	63.1%	68.7%	85%
市場	0.33兆円	0.87兆円	1.23兆円	2.76兆円	4.59兆円	6.08兆円	7.19兆円	8兆円



店舗数	1	11	29	34	39	48	58	75	92	148	148	193	218	247	356	375	397	448	494	560	616	754	881
M&A (店舗数)										1社 (56)		2社 (40)	2社 (30)	2社 (35)	2社 (91)		6社 (33)	9社 (21)	11社 (28)	13社 (22)	15社 (119)	23社 (110)	

▶ 分業率: 日本薬剤師会より、調剤市場: 厚生労働省調剤医療費の動向より



▶ 各社16/3期決算短信を基に作成(当社16/4期) ▶ 円の大きさは2016年5月末の時価総額に比例

本件に係る照会先

**株式会社アインホールディングス
経営企画室
TEL011-814-0010
FAX011-814-5550
<http://www.ainj.co.jp/>**

事前に株式会社アインホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。



AIN GROUP